

- 主 な 内 容
- ◆平成 25 年度下半期財政状況…2
 - ◆市民のまちづくりを支援…2
 - ◆水は限りある資源です…3
 - ◆いんザイ君花壇がみなさん
を「お・も・て・な・し」…4

住みよいまちづくりに向けて

千葉ニュータウン21住区内に

新小学校などの建設開始

〔仮称〕21住区小学校等（地域交流施設・児童保育施設）の建設工事が始まりました。北総線印西牧の原駅の北側に位置する千葉ニュータウン21住区は、平成23年度に入居が開始されて以降、徐々に街並みが形成されており、今も住宅建築に向けた造成や開発が進み大きく飛躍をしようとしています。

それに伴い、地域の核となる小学校などの建設が望まれています。これら施設を一体的に整備することにより、相互の有効活用を図ることができ、地域のふれあいの場となるよう整備します。

◆本格的な建設に向けて
去る、4月22日に当建設地で〔仮称〕21住区小学校等新築工事安全祈願祭」が建設会社主催で執り行われました。



▶新設の〔仮称〕21住区小学校等（地域交流施設・児童保育施設）のイメージ図

当日は、たくさんの来賓が出席し、今後の工事の無事を祈願しました。工事の完了については、平成27年3月を予定しています。

【施設概要】…次のとおり。

- 敷地面積：24,200・43㎡。
- 建物の延べ面積：▼小学校校舎5,006・73㎡▼屋内運動場1,284・29㎡▼そのほかの建物476・20㎡▼地域交流施設566・87㎡▼児童保育施設142・78㎡。
- 構造：鉄筋コンクリート一部

か、鉄骨造一階および二階建て。運動場：一周200m。園教育総務課教育施設班（☎内線514）。

関東高等学校空手道大会開催



写真は今年1月に市内で行われた関東大会の様子

今年8月に印西市内で開催される高校総体に先立ち、松山下公園総合体育館（浦部）で、平成26年度関東高等学校空手道大会が開催されます。全国でもトップレベルの大会を間近でご観戦ください。

時 6日(金)・午後3時～（開会式）、6月7日(土)、8日(日)。

※多数の来場者が見込まれるので、お車は乗り合わせの上、ご来場ください。

☎スポーツ振興課高校総体推進室（☎内線551・552）。

吉野瑠莉（原）さん

「地域の誇り」表現コンテスト

で優秀賞を受賞

去る、3月20日千葉県主催の「地域の誇り」コンテストの表彰式が行われ、市内（原）在住の吉野瑠莉さんが優秀賞を受賞、県知事より表彰されました。



▲吉野瑠莉さん

このコンテストは、ふるさと千葉への愛着や誇りについて考え、地域に対する満足感を抱くことを目的としています。

コンテストの作文で吉野さんは、故郷である印西への想いをつづっていました。

次期中間処理施設

（新たなごみ焼却施設およびリサイクルセンター）候補地の住民意見交換会を開催

市内から応募があった、次期中間処理施設（新たなごみ焼却施設およびリサイクルセンター）の候補地および建替用地として保有している現在地に関する住民意見交換会を開催します。

※開催日程などについては、印西地区組合ホームページを参照（<http://www.inkan-jk.or.jp>）。

◆意見交換会の趣旨

建設予定地を決定するまでには、用地検討委員会の会議（原則公開会議）で三段階の審査を経て、比較評価により順位付けをします。現段階では、一次審査、二次審査まで進んでおり、これから行う三次審査の項目において「周辺住民の理解度・協力度」の確認があります。

今回の意見交換会では、本事業に関する正しい情報をお伝えするとともに、みなさんご意見をお聞きする場として開催します。

◆ごみ焼却施設は全国的にみても安全な施設

ごみ焼却施設は、みなさんの生活に必要な不可欠な施設であるにもかかわらず、未だに「ごみ処理」という一面だけで迷惑施設と思われる人もおり、建設候補地の地元合意形成を図ることは容易ではありません。

最新のごみ焼却施設は、高度な燃焼技術と徹底した排ガス処理などにより、環境負荷の低減が図られるとともに、安全性にも十分配慮された施設です。また、単にごみを焼却処理す

るだけでなく、焼却の際に発生する熱エネルギーを活用する発電施設であり、環境学習にも活用されるなど、地域の特性に応じた活性化への寄与が大きく期待できる施設でもあります。

◆排ガス処理

ごみの焼却による排ガスは、安定した燃焼環境と有害ガス除去装置により、排ガス中に含まれる有害物質の発生を抑制・除去します。また、ろ過集じん器を通すことにより、煙の中のほこりや細かいごみを取り除き、水蒸気の状態で排出します。

◆臭気対策

ごみピット（貯留場所・プラットホーム（ごみ投入場所）内の臭気を含む空気は、外部に漏れることの無いよう焼却炉内に吸引して、臭気物質を熱分解します。

◆ごみ収集車

ごみ収集車による渋滞や安全面への問題に配慮し、アクセス道路の選定には十分注意し、道路交通に影響を与えないようにします。

◆周辺整備

次期中間処理施設の建設に合せ、周辺住民のみなさんとの対話や協議により、快適な住環境を整備し、地域活性化につながるよう熱エネルギーの有効活用や社会資本の整備などを進めていきたいと当組合は考えています。

☎印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設事業用地検討委員会事務局（次期施設推進班内）
☎(46)2734。